



第13回 日米草の根交流サミット・千葉大会 開催決定！！

2003年は『千葉』よりお届けします。感動を！



「Chiba- the Gateway to Japan and the World」と「Heart to Heart Communications」を掲げて立ちあげたボランティア・グループ“あんさんぶるちば”が中心となり、準備を進めております。

全国でもトップクラスの農業産出高に漁獲高を誇る自然豊かな房総半島を中心とした千葉県は落花生、菜の花などをはじめ美味しい料理を味わうことができ、成田国際空港など「日本の玄関」を担う一方、自然環境保護にも努めるなど、奥深い千葉の魅力を感じることができます。

平成15年(2003年)10月16日(木)～19日(日)

実行体制

- 1) あんさんぶる・ちばと(財)ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センターがコーディネイターとして、千葉県、(財)ちば国際コンベンションビューロー、千葉市、(財)千葉市国際交流協会の後援(いずれも予定)のもと、受け入れを行う関係自治体、市民団体、協賛企業と協力、連携し、全体計画の立案、準備及び実行を行って参ります。
- 2) 地域分科会、分野別分科会を主催する市町村、もしくは市民ボランティア団体は、米国側参加者を受け入れ、独自計画、及び分野別テーマについての諸行事を実施するものとします。



開催日程

| 「日時」 | 「場所」 | 「行事」 | 「宿泊」 |
|-----------|---------------|--------------------------------|-----------|
| 10月14日(火) | 米国 | 出発 | 機内 |
| 10月15日(水) | 千葉市内 | 到着 | 幕張プリンスホテル |
| 10月16日(木) | 千葉市内 | オリエンテーション 開会式 ウエルカム・パーティ | 幕張プリンスホテル |
| 10月17日(金) | 千葉県各地 | 地域分科会 | ホームステイ |
| 10月18日(土) | 千葉県各地 | 地域分科会 | ホームステイ |
| 10月19日(日) | 千葉県各地 千葉市内 | 地域分科会 閉会式 フェアウエル・パーティ | 幕張プリンスホテル |
| 10月20日(月) | 東京都内 | 東京フリータイム | 浅草ビューホテル |
| 10月21日(火) | 成田 米国 | 出発 到着 | |

千葉サミット新報
どんな大会になるのだろうか？

大会内容

【開会式、ウエルカムパーティ】

幕張地区（予定）にて開催予定。ボランティア主体の計画・運営とし、極力従来との形にとらわれない草の根交流の精神を生かした、簡素ではあるもののユニークなものを目指していきます。

【地域分科会開催市町村】

- 1)千葉市 : 「個性豊かな交流を目指して」をスローガンに分野別分科会開催計画中。
- 2)成田市 : 新勝寺、伝統文化、歴史等紹介、他。
- 3)木更津市 : かずさアカデミアホールでの合唱団の交流会、民話を聞く会、地域文化活動への参加など。
- 4)松尾町 : 伝統芸能「神楽」、古墳文化、埋蔵文化財発掘体験、他。
- 5)市原市 : 温泉や渓谷散策を楽しみ、遺跡や埋蔵文化財などに触れ、古い歴史のある町での交流。
- 6)茂原市 : 太平洋海岸散策、諸体験等を通じて自然と親しむ。
- 7)我孫子市 : 手賀沼の自然散策、バードウォッチング、鳥の博物館見学などを行ない、国際交流祭に参加し、交流を深める。
- 8)銚子市 : 日本で一番早く日が昇る都市。新鮮な魚が大量に集まる漁港など、他。
- 9)野田市 : テーマは料理文化! 世界最大の醤油製造会社“キッコーマン”誕生の地。

【閉会式、フェアウエルパーティ】

幕張地区にて開催予定。趣旨は開会式に同じとします。

【ホームステイ】

草の根交流の原点、基本理念として、受入、滞在に際して多数のホームステイを実施いたします。千葉地区、地方分科会、分野別分科会開催地区で多数のホームステイ受け入れをお願いしていきます。

【オプション・プログラム】

開催時期：10月11日(土)～15日(水)

- 1)庄内 2)栃木 3)静岡 4)岐阜 5)広島

栃木県立栃木女子高等学校コーラス&オーケストラ部・エバンズビル市訪問交流プログラム 終了!

女子高校生の
 で奏でる国際交流
 それぞれの物語の始まり

昨年十二月二十六日から今年一月四日まで栃木県立栃木女子高等学校のコーラス部&オーケストラ部約百二十名が姉妹都市交流の一環として、米国インディアナ州エヴァンズビル市を訪問した。現地では同市の一大イベントである「ニューイヤースコンサート」にゲストとして出演し、他にも演奏会や交流プログラムを幾つか行った。さらにメインプログラムとして、ホームステイプログラムを三泊四日で実施した。

エバンズビル市は二〇〇〇年に開催した第十回日米草の根交流サミットシカゴ中西部大会イリノイ州・インディアナ州・ウイスコンシン州)で地域分科会の一つであった。姉妹都市である栃木市との継続的交流を目的に、昨年に音楽交流プログラムを予定していたが、アメリカの同時



多発テロ事件により一度は延期という結果に終わった。しかし、交流を希望する両市の協力により多くの壁を乗り越えて今回の交流を成功させた。また、昨年の十一月にはエヴァンズビル・ユースオーケストラ約七十名が栃木市を訪問し、ジョイントコンサートや学校訪問を行っている。二つのプログラムを終えた両市関係者は、「21世紀を生きる子供たちにとって、世界に向けての最初の一步になれば。」と語っていた。



約百二十名の大規模な参加者数ということから二グループに分けての出發となった。第一グループは十二月二十六日に出發しシカゴに二泊、第二グループは二十七日に出發してシカゴに一泊した。



十二月二十八日、シカゴで一つにまとまった百二十名の大団体は、バスでシカゴからエヴァンズビルへ向かった。彼女達は、約七時間の道のりを通して、はじめてアメリカの広大な大地に触れた。ともあれ当たり前だが、体力消耗のままエヴァンズビルに到着。



一気に入張の顔つきに変わった。この旅の全てがはじめての経験になる彼女達にとつても、ホームステイは格別だったといことだ。ホームステイとの対面式後は自由解散。それぞれの「物語」がついに始まった。



その実力はとても素晴らしい。三十日は少し休憩というところで、エヴァンズビルから車で一時間行ったところにある「ユートモ」二つという典型的なアメリカ中西部の町を観光した。帰り道、ボランディアの友人である農場経営者を訪問し、広大な敷地の農場で大歓迎を受け、思わぬ交流となった。



無事成功に終わったこのプログラムの背景に、現地ボランディアとホストファミリーの多大な努力があったことは言うまでもないんだ。



羽ばたけ大学生 「第1回 CIEセミナー」 大成功！！

国際交流に興味のある大学生約30名が東京に集まり、国際交流について考えるセミナーを実施。21世紀の未来を見つめ直すと共に、大学生同士の友好を深めました。



スケジュール

2月28日(金)
08:30 ガイダンス
10:00 自己紹介
12:00 昼食
13:30 セミナー 「International Exchange」
15:00 休憩
15:30 セミナー 「Identity」
17:00 休憩
18:00 「大学生との交流会」
20:30 終了

3月1日(土)
08:30 セミナー 「Organization」
10:00 休憩
10:30 セミナー 「Presentation & Communication」
12:00 休憩
13:30 セミナー 「Media」
15:00 休憩
15:30 グループ・ディスカッション
17:00 終了

3月2日(日)
08:30 グループ・プレゼンテーション
12:00 終了



広島大会後の京都オプショナルプログラムやテキサス大会に参加した大学生が中心となって声をかけ、国際交流について考える「第1回CIEセミナー」を東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催しました。
セミナーには広島、京都、大阪、東京の大学生約三十名が参加し、高橋財団専務理事の全五回のセミナーを中心にゲストを招いたディスカッションやCIE関係者との交流会、グループ・プレゼンテーションなどのプログラムを行いました。また、大学生たちはオリンピックセンターでの共同生活を共にし、学生ネットワークを広め、その友好を深めました。

セミナーでは、各大学生は積極的な発言で盛り上がりを見せ、社会人を交えて同じ目線で社会を考え、意見を交換し、最後のグループ・プレゼンテーションでは、大変ユニークな国際交流のプロジェクトを発表しました。
我々は、その柔軟性に富んだ企画力と活発な行動力を持つ今回の様な大学生たちと共に国際交流の楽しさと重要性を広めていく大切さを改めて実感しました。

担当 松田剛

講師 : 高橋徹 財団専務理事
ゲスト : 小竹暢隆 日本福祉大学 研究開発室長
小屋修 NTTコミュニケーションズ(株) IPインテグレーション事業部 企画部 マーケティング担当
平田潔 第13回日米草の根交流サミット・千葉大会 実行委員会 事務局長

参加大学

京都大学、関西外国語大学、早稲田大学、慶應義塾大学、東京大学、東京国際大学、武蔵大学、桜美林短期大学、尾道大学

